

第118回問題 解答

by H7K.

$$1^2 + 2^2 + \dots + n^2 = \frac{n(n+1)(2n+1)}{6}$$

より、これがある $a \in \mathbb{N}^+$ を使い a^2 と書ければ良い。

さて、 $2n+1 = n+(n+1)$ であるので、この2つはどれをとっても共通の約数を持たない。そのため、どの a のある素因数 p についても、この3つのどれか一つに、平方数の形で固まって存在する(但し2,3については奇数乗の形で)。

これより、 $xyz = 6$ を満たす $x, y, z, p, q, r \in \mathbb{N}^+$ を使い

$$n := xp^2 \qquad n+1 := yq^2 \qquad 2n+1 := zr^2$$

とおける。

さて、 $2n+1 \equiv 3 \pmod{3}$ であるので、 $z = 1, 3$ 。これと「 $\forall m \in \mathbb{N}; m \equiv 0, 1 \pmod{3 \text{ or } 4}$ 」(★)より、 $2n+1 \equiv 0, 1 \pmod{3}$ 。

■ $2n+1 \equiv 1 \pmod{3}$ のとき $\rightarrow n \equiv 0 \pmod{3}$

これの可能性としては、(a) $x = 1 \wedge p \equiv 0 \pmod{3}$ 、(b) $x = 2 \wedge p \equiv 0 \pmod{3}$ 、(c) $x = 3$ 、(d) $x = 6$ がある。

(a) の場合：

$z \not\equiv 0 \pmod{3}$ より、 $y = 3, 6$ だが、これは $n+1 \equiv 0 \pmod{3}$ を示している事になり、矛盾。

(b) の場合：

$2n+1 \equiv 1 \pmod{4}$ がわかり、(★)より $z = 1$ 。∴ $y = 3$ 。しかしこれはまたも $n+1 \equiv 0 \pmod{3}$ を示している事になり、矛盾。

(c) の場合：

$y = 2$ だが、(★)より、 $n+1 \equiv 0, 2 \pmod{3}$ がわかり、矛盾。

(d) の場合：

$(x, y, z) = (6, 1, 1)$ より、 $r^2 - q^2 = 6p^2$ 。∴ $r \equiv q \pmod{2} \wedge p \equiv 0 \pmod{2}$ 。

よって、 $p := 2p'$ とおくと、 $q^2 = 24p'^2 + 1$ (α)、 $r^2 = 48p'^2 + 1$ (β) と書ける。

これの最小解は $(p', q, r) = (1, 5, 7)$ であるので、 $h, q', r' \in \mathbb{N}$ を使い、

$$p := 1 + h \qquad q := 1 + q' \qquad r := 1 + r'$$

とおき、これを (α)、(β) のそれぞれに代入すると

$$q'^2 + 10q' + 25 = 24h^2 + 48h + 25$$

$$h'^2 + 14q' + 49 = 48h^2 + 96h + 49$$

これより h を解の公式を使い $h =$ の形にすると

$$\begin{aligned} h &= -1 \pm \frac{1}{48} \sqrt{48^2 + 960q' + 96q'^2} = -1 \pm \frac{1}{12} \sqrt{144 + 60q' + 6q'^2} \\ &= -1 \pm \frac{1}{96} \sqrt{96^2 + 192 \cdot 14r' + 192r'^2} = -1 \pm \frac{1}{12} \sqrt{144 + 42r' + 3r'^2} \end{aligned}$$

$h \in \mathbb{N}$ より、

$$144 + 60q' + 6q'^2 = 144 + 42r' + 3r'^2 = (12\alpha)^2$$

$$48 + 20q' + 2q'^2 = 48 + 14r' + r'^2 = 48\alpha^2$$

これより $q' \equiv r' \equiv 0 \pmod{2}$ がわかるので, $q' := 2q'', r' := 2r''$ とおくと

$$48 + 40q'' + 8q''^2 = 48 + 28r'' + 4r''^2 = 48\alpha^2$$

$$12 + 10q'' + 2q''^2 = 12 + 7r'' + r''^2 = 12\alpha^2$$

$$2(q'' + 2)(q'' + 3) = (r'' + 3)(r'' + 4)$$

$\beta := q'' + 2, \gamma := r'' + 3$ とおくと,

$$2\beta(\beta + 1) = \gamma(\gamma + 1)$$

$\beta, \gamma \in \mathbb{N}^+$ であることに注意すると, この解は $(\beta, \gamma) = (2, 3)$ のみ.

よって, $(r'', q'') = (0, 0)$ のみなので, $(p, q, r, n, a) = (2, 5, 7, 24, 70)$ (石の個数 = 4900[コ]) のみ. //

■ $2n + 1 \equiv 0 \pmod{3}$ のとき $\rightarrow n \equiv 1 \pmod{3}$

(★) より, $x = 1$ である. さて, この可能性としては, (e) $z = 1 \wedge r \equiv 0 \pmod{3}$, (f) $z = 3$ がある.

(e) の場合:

$y = 6$ だが, これは $n + 1 \equiv 0 \pmod{3}$ を示している事になり, 矛盾.

(f) の場合:

$(x, y, z) = (1, 2, 3)$ であるので, $2q^2 = p^2 + 1$ (γ). この場合の最小解は明らかに $(p, q, r) = (1, 1, 1)$ なので, $p', q', r' \in \mathbb{N}$ を使い,

$$p := 1 + p'$$

$$q := 1 + q'$$

$$r := 1 + r'$$

とおき, (γ) に代入, 整理すると

$$p'(p' + 2) = 2q'(q' + 2)$$

これより, $p' \equiv 0 \pmod{2}$ がわかるので, $p' := 2p''$ とおくと

$$4p''(p'' + 1) = 2q'(q' + 2)$$

$$2p''(p'' + 1) = q'(q' + 2)$$

これより, $q' \equiv 0 \pmod{2}$ がわかるので, $q' := 2q''$ とおくと

$$2p''(p'' + 1) = 4q''(q'' + 1)$$

$$p''(p'' + 1) = 2q''(q'' + 1)$$

この解は $(p'', q'') = (3, 2), (0, 0)$ のみ.

それぞれについて, $(p, q) = (7, 5), (1, 1)$ となるが, 前者だと $r^2 = 33$ となり, 不適當.

ゆえに, $(p, q, r) = (1, 1, 1)$ のみで, このときの $(n, a, \text{石の個数}) = (1, 1, 1)$.

以上より, $(n, a, \text{石の個数}) = (1, 1, 1), (24, 70, 4900)$ のみ. //